

第 20 回支援連絡調整会議 議事録

日 時：2015 年 1 月 20 日(火) 10:00~12:00
場 所：竹駒地区コミュニティセンター
出席者：22 団体 32 名（内オブザーバー3 団体 4 名）
進行：酒井（事務局）
文責：三浦（事務局）

1. 活動報告（全体）（10:00~10:20）

- ・ 初参加、及び前回参加時から間が空いている団体からの活動報告を共有
- ・ その他は特にイベントやニーズ等の共有事項がある団体が挙手にて報告
- ・ 質問あれば適宜。各団体 2~3 分程度で報告

※以下発表順、発表者敬称略に記載

※発表の順番は第 20 回支援連絡調整会議参加者名簿に準ずる。番号は名簿の番号を記載

◆活動報告

18	ハマトラ 横浜フット ボールネットワーク/ 篠原	昨年 11 月に横田小学校でフットサル交流会を開催。今回は他イベントとの重複がなかったからか 30 名ほど集まった。おでん昼食会は、当初大人にも参加いただく予定だったが、子どもたちで集会室が一杯になるという嬉しい誤算もあった。まだこれだけ集まってもらえる状況だと感じた。その他、同 11 月神奈川大学のキャンパスを借りて、3 回目になる「かながわ発 U-22 被災地行ってきました」の活動共有会を行った。学生同士横のつながりをつくる場として、次への発展につながる話もあった様子。共有会の中では防災カルタづくりのワークショップも行った。
24	まあむたかた/荻原	法律相談の仮設巡回を実施しているが、後 3 か月で全仮設を回る。最初は「もらえる支援金の正しい情報」がニーズだったが、最近は生活を再建するための悩み、一人一人に寄り添った悩み事相談に変わってきている。もし仮設を回る際に悩んでいる方がいたら、声をかけてほしい。 1/21（水）「女性のための防災リーダー養成講座」を開催する。防災センターにて煙体験、消火体験等、午後は女性の困りごとを話し合うワークショップを行う。提言書をまとめ市に提出したいと思っている。男性でも参加可能なの

		で、興味のある方がいたら声をかけてほしい。 1/23日（金）味の素協力ののもと、レインボーハウスで料理教室を開催する。親を亡くした方だけでなく、仮設や地域の方など広く広報していたので、ぜひ参加の声がけをお願いしたい。
25～ 26	国境なき子どもたち (KnK) / 畠山	陸前高田市では移動型バスを改良した移動型子どもセンターにて、放課後の見守り等を行っている。小中学生、小学生対象に平日の放課後実施。ニーズとして、地域の方と子どもの交流機会がないということで、仮設住宅連絡会のカフェに参加させていただき、世代間交流の機会とする等の活動も行っている。

◆イベント情報、お知らせ等共有

いわて生活協同組合 / 池田

配布したハローコープ、表紙は復興支援に関わる人たちで特集。年末は市内 11 カ所の仮設住宅にて、すき焼きと奈良コープからの支援のおせちで年末昼食会を行った。これまでの炊き出しから、一緒につくってお話ししようという方針で実施した。イベント告知 1 件。1/26日（月）に陸前高田キャピタルホテルと大船渡リアスホールでコンサートを開催する。キャピタルホテルは間もなく定員となるが、リアスホールはまだ余裕がある。誰でも参加でき、予約は電話で受け付けているので、良かったら参加してほしい。

ジャパン・プラットフォーム (JPF) / 高久

現在ジャパン・プラットフォームではネットワーク組織を通じた支援活動の連携調整に関するアンケート調査を行っている。JPF と神戸都市問題研究所がネットワークの有効性の検証を実施中。今後起こりうる災害に対しても活用したい。メーリングリストでも案内したが、資料を配布したので回答にご協力いただきたい。提出方法はメール、FAX、もしくは直接書いて高久へ提出。

いわて連携復興センター (IFC) / 葛巻

被災者支援ニュースレターを配布。お知らせが数点。①復興庁被災者支援班から、「被災者支援コーディネーター事業」を三県の連復、JPF、RCF が受託。岩手は IFC がコーディネーター事業を受託した。②「あったかいわてプロジェクト」について、募金対象に NPO も入ったようなので、お知らせさせていただく。③釜石で「伝えるコツ」セミナーが開催される。企業ノウハウを NPO に伝えるセミナーで、明日 1/21（水）。席に余裕があるのでぜひ参加してほしい。④コミュニティ・オーガナイズング・ワークショップいわてを開催する。席はまだある。⑤NPO 法人事務局検定（NPO の事務を体系的に整理するセミナーと事務力検定）

を、岡山 NPO センター協力のもと開催する。詳細は配資料参照。

NEC ネットズアイ（ひまわりハウス）／池田

2/9（月）、23 日（月）におはなしペパンの「大人のための読み聞かせ会」を開催する。1 回目は大石公民館、2 回目がひまわりハウス。どなたでも参加自由、無料。お菓子など用意して雑談できるような場も設けたいと思っているので、リラックスしたい方等、お時間あればぜひ来ていただきたい。

パクト／乗久保

大事なお知らせ一点。気仙町の事務所兼復興サポートステーションが、かさ上げ対象地のためこの度移転した。新事務所は米崎町字中島 108-2。アップルロードマイヤ店の裏を少し下がっていったところ。今後とも引き続きよろしく。

セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン／木下

「まちづくりフォト」の第二弾を 1/24 日（土）、31 日（土）に実施する。今回は UR の協力で、かさ上げ工事現場に入って子どもたちの視点で写真を撮影し、市内外に発信することを予定。今回は沿岸地域で写真展示も予定。興味のあるお子様がいたらぜひお声かけをお願いしたい。

2. 運営委員会報告（事務局より）（10：20～10：30）

➤ 運営委員会の報告

第 19 回支援連絡調整会議では、運営委員会にて NPO の考えるビジョンづくりを進めていることをお知らせしたが、今回は検討経過を共有する。ビジョン検討の目的は 2 つ。緊急期とは違うフェーズに入ってきていることを感じる中で、相手のニーズを意識した活動をとの思いがある。これからの復興・まちづくりを NPO として補完していくために、それぞれの方針を知り、何ができるか考えていけるものをつくりたいとの思いから、昨年 10 月より運営委員会で検討を開始した。市の復興基本方針 6 つに沿って、まちづくりプラットフォームの考えるビジョンを検討、12 月の運営委員会ではビジョンに付随するアクションも検討した。配布のイメージ図はあくまでも案だが、各団体の活動をあてはめられるものをつくることで、全体を俯瞰してみる指標になるかと思う。

運営委員会に留まらず、参加団体ともしっかりと共有できるものをつくりたい。そこで、支援連絡調整会議のグループ議論の時間を使って、運営委員会の案をたたき台にビジョンやアクションプランのアイデア出しをしたいと思い、提案させていただく。

ポイントとしては、「アイデアを出したからやらなければいけない」ではなく、「高田のまちにこれから必要な取り組みは何だろうか」という視点でアイデア出しをしたい。今

後の展開は、2～3月の支援連絡調整会議でアイデア出しをし、春頃を目途にまとめたものを住民の方、地域のコミュニティに共有して、ヒアリングを実施したい。最終的に、行政、住民、NPOそれぞれのビジョンを重ね合わせたものを作ることをゴールに考えている。アイデア出しに関しては現在のグループ毎に行う予定。

《質問・意見》

- ・ 必要な事だと思うので、やってみたらいいと思う。
- ・ 対象は被災地域か、市全体のビジョンづくりか？→市全体と考えている。

⇒参加者の賛同をいただいたので、次回2月の支援連絡調整会議で実施する。

わからないところがあれば、アンケートに欄を設けているので記入してほしい。不明点は進行役に聞いていただいてもいい。次回、不明点を明らかにしたうえで、みなさんと議論を行いたい。

3. 意見交換・現状の活動などの抽出/共有(テーブル議論)

<1G:地域・コミュニティ>

➤意見交換

- ・ 前回の会議内容を振り返り。進捗があった部分は共有。詳細は議事録で。
- ・ 今回も下和野災害公営住宅をケースに設定し、NPOにできることは何か？を話し合い。
- ・ 入居者同士の顔が見えていないという現状から、交流のきっかけをつくり、数をこなすことで知り合いを増やす。きっかけづくりができるという話。
- ・ そもそも自治会は組織作りに悩みを抱えている。サロンの前に、組織作りに対する支援が必要ではないか。案：事務手続き、資金情報、運営ノウハウ、話し合いの場づくりなど。
- ・ 自治会長一人に負担が集中するのではなく、会長が相談できる場も必要という意見から、役員が集まれるきっかけも必要。そこでNPOにできるのは他の自治会の事例共有、場のセッティング、議題のアイデア提供、自治会長同志の横のNWづくり。
- ・ 災害公営住宅集会所の備品に関しては岩手県復興局から情報提供。
⇒復興交付金の効果促進事業にて、災害公営住宅集会所への備品設置が含まれる見込み。時期、備品など詳細は調整中だが、詳しい情報が入ればまた共有したい。本日配布の被災者支援ニュースレター第2号にも情報が記載されている。(復興局より)
※ 被災者支援ニュースレターの受け取りを希望する場合は、レターに記載の復興庁被災者支援班まで連絡を。

<2G教育・子ども／女性・子育て>

➤意見交換

- ・ 前回の振り返り。市女協からの投げかけ「地域団体とどうつながっていますか？」
- ・ 地域団体と接点を持って行きたい。そのために私たちがどう動けるか。

- 最近は調整会議に足を運んでくれる団体もある。
 - 調整会議の場に参加できない地元団体には直接訪問して声を聞きたい。
 - 入口は、ニーズを聞いてからと市教育委員会を通すどちらもある。
 - 社協を通じて地域入った事例もある。
- ⇒地域団体（あゆっこ、きらりんきっずなど）に聞きたいことを洗い出し。
⇒既に接点のある団体を通して訪問し、インタビュー形式で話を聞く予定。

<3G 商業・観光・産業>

>地域情報共有

- ・ 2/10 オラホビデオ閉店
- ・ 下和野公営住宅の1階に美容室が開店。

>意見交換「災害公営住宅と商業の在り方について」

- ・ 滝の里のマイヤところに病院ができるとうわさあり。
- ・ 災害公営住宅への商業サービス展開は、内向きなのであまり儲からないかも。
- ・ 業種によっては顧客獲得につながって成り立つのではないかな？
- ・ 住宅の入居率にも左右されること。
- ・ 陸前高田で集合住宅に住むという文化が馴染んでいない。その文化を築くことから新たなビジネスチャンスになる。
- ・ ビジネスの内容は不明だが、集合住宅に強い企業もあるので、企業（やCSR）との連携で住宅内のコミュニティ形成や集える環境作りにもつなげられるのではないかな。
- ・ 仮設から公営住宅へ移行する中で、仮設住宅の集会所にある備品の取扱も今後出てくる問題。備品の取扱い（マッチング、リースなど）も企業のノウハウをもらいながら活用する展開もあるかも。

【次回の開催日程】

- ・ 第21回支援連絡調整会議
2月17日(火)10:00~12:00 ※会場及び詳細は別途連絡